

千葉中央での思い出

櫻井 里彩

私が中央に入ったきっかけは、お姉ちゃんが山川コーチにさそわれ、お姉ちゃんたちが、千葉中央に入ってその練習を見ていて楽しそうでもうやってみたくらいと思ったのが千葉中央に入ったきっかけです。私が入ったのは、一年生の、一月ごろでした。なので、入った時は、まだBチームでした。そのころは、草野コーチやさいとうコーチなど、色々なコーチが教えてくれました。そのころは、お手玉などを使って練習してとても楽しかったです。草野コーチとさいとうコーチは、二年生ぐらいで終わってしまいました。三年生からは丸山コーチがきてくれて一緒に練習しました。このころは、とても強くて、でた大会は、ほとんど優勝していました。そのあと、五年生になり、監督練習になりました。LCでは、一位リーグに入り、いい結果がとれました。その時は、「このままいけば、強くなる。」と思いました。でも、他のチームがどんどん強くなり、中央が

どんどん負けていきました。そして、次の日からまた、監督練習で、さいしょは、話は、長いけど練習は、少し楽しそうだと思っていました。でもやってみたら最初は、Bチームの方が、楽しいなと思っていました。そして、だんだんつらくなり、バレーに行くのがいやになったこともあります。練習試合に行けば、おこられ、次の日も練習試合のことでおこられて、またおちこむ。そんな毎日でもとてもつまらない生活でした。かんとくは、やりたいことがおまえらはできているんだから幸せだ。といていました。そのときはぜんぜん幸せではありませんでした。バレーボールができることにたいしては、幸せでした。ですが、おこられ続ける毎日は、幸せではありませんでした。たまにはやすみたい、ちがうことをしたいなども考えたことがあります。でも、それをなんとかがまんしてきたのにすべての大会でも結果を残せなかったっていうのはすごくやさしかったです。なので、今年はいやしい思いをしないように、男女ともに、全国にいけるようにがんばって下さい。